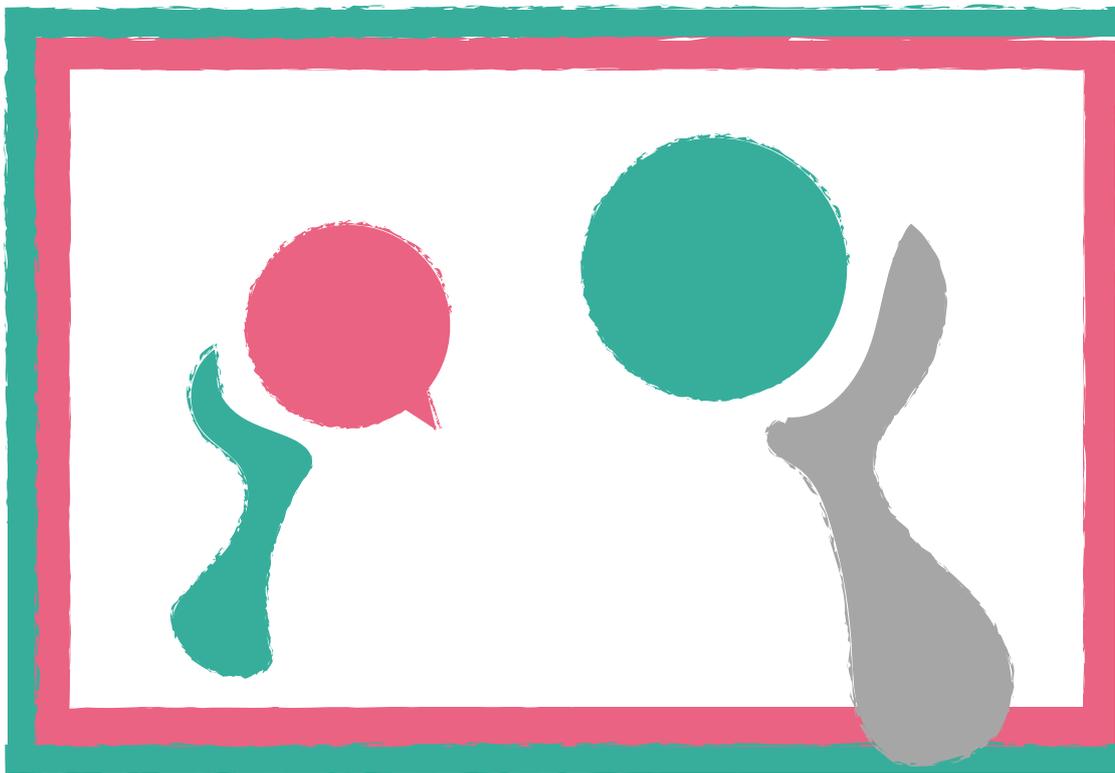


鹿児島県

# 男女共同参画センター だより

性別にかかわらず 一人ひとりが尊重され 個性と能力が発揮される社会をめざして



## 特集

### わたしたちの課題から学ぶマネジメント

わたし×働く のこれからをデザインする3DAYS vol.4

- 相談室から
- 鹿児島県男女共同参画地域推進員について
- きらりびと
- 令和3(2021)年度上半期の事業予定
- 新着図書情報

2021.3  
vol.40

# わたしたちの課題から学ぶマネジメント

わたし×働くの  
これからをデザインする 3 DAYS vol.4

鹿児島県男女共同参画センターでは、働くことをテーマにしたセミナーを毎年実施しています。

今年度は、更に対象者を分けて、2つのセミナーを開催しました。

今回は、管理職や職場における“これから”のマネジメントについて学んでみたい女性を対象に実施したキャリアアップセミナーの様子とそこで出された課題や学んだことを一部紹介します。

## 2020年度の“働く”をテーマにしたセミナーの構成

### わたし×働くのこれからをデザインする 3 DAYS vol.4

今回はこちらを中心に紹介

#### キャリアアップセミナー

□ピア・スタディングと協働で実施  
対象：管理職・職場における“これから”のマネジメントについて学んでみたい女性

**DAY1** ピア・ダイアログ

2021年1月30日(土)

**DAY2** わたしたちの課題から学ぶ  
これからのマネジメント

2021年2月6日(土)※リモート

**DAY3** 公開講座

2021年2月14日(日)

〈共通〉

公開講座「日常の中のジェンダーギャップ」講師：荻上チキさん(評論家) ※リモート

#### キャリアデザインセミナー

□ピア・スタディングとマルヤガーデンズとの協働で実施  
対象：自分の“これから”を“働く”ということを切り口に考えてみたい女性

**DAY1** 公開講座

2021年2月14日(日)

**DAY2** アサーティブ・トレーニング

～“わたし”を“わたし”の真ん中に～  
2021年2月21日(日)

**DAY3** “わたし”のことを“わたしたち”で語る

～これまでの学びを振り返るダイアログ～  
2021年2月28日(日)

DAY 1

1/30 土曜日  
13:30～15:30

### ピア・ダイアログ

講師：松崎陽子さん  
(キャリアコンサルタント)

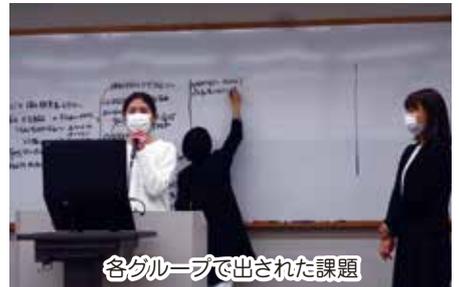
「こういう時、どうすればいいんだろう？」

「こういうケースは、どう考えればいいんだろう？」

同じ立場にある“わたしたち”が会場に、またはオンラインで集まり、お互いに重ねる対話から見えてくる新しい発見や共通の課題を拾い上げました。



会場の様子



各グループで出された課題

上司や部下と価値観が違う…。

昔と違って叱ることが難しい。

悩みを相談できないまま辞めていく人がいる…。

昇進の打診を受けているが価値観は変わっておらず女性登用が形だけ進んで不安。

自分だけが正規社員で情報共有がうまくいかない。

働くお母さんたちは仕事と子育てを両立しようと懸命なのに、子どもが感染症系の病気にかかるのとシフトの調整が…。

会社が積極的な女性登用の方針に変わったけど…。

業務改善を訴えたら逆にわかままといわれた。

上司に指示を確認していたら逆パワハラといわれた。

女性は、いろいろな部署に異動ができず経験が積めない。

それぞれ家庭の事情があるのに同列に扱われてモヤモヤ。

働き方が違う人たちに公正な評価をしているか悩んでいる。

上司がすぐわりこんできていつまでも経験がつかめない。



上司や部下とのコミュニケーション不足が悩み。

ちゃんとリモートで業務をしているか会社から疑われているように感じる。

これからの管理職に求められるマネジメント力のカギを握る多様性への理解。多様化する価値観や希望を理解し、働きやすい職場づくりで、働きがいを創り出すためのマネジメントについて、ダイバーシティマネジメントの第一人者である渥美由喜さんをお迎えして、1日目に出された課題を元に具体的に学びました。



講師：渥美由喜さん  
(ダイバーシティ&  
WLB コンサルタント)



ケース1 『パワハラ?』

指摘や指導がパワハラということで、しにくくなっていて、誰にも注意できない上司がいます。

適正指導とパワハラは全く異なります。注意すべきことを指導しない、これは消極的なだけです。言う内容よりも言い方が重要で、例えば家族などにロールプレーで見てもらい、フィードバックをしてもらうなどもいいですね。あとはリスクヘッジをしておけば十分だと思います。



ケース2 『悩み』

自分の悩みを外に出せずに、退職していく人が多い。悩みを共有できる場づくりはどうすればいい?

このような人材流出が一番もったいないです。管理職、ベテラン、成功者ほどネガティブトーク、Bad&Pastをおすすめします。ネガティブなことを語るというのは、人を励ましたりするほか、部下がネガティブなことを話しやすくなる・相談してくれる、仕事での失敗がいち早く耳に入るなどの意外な効用があります。また管理職の方もリスクを放置しておくとも1日で10倍に増えますから、少しでも早くネガティブな情報を耳に入れることが重要です。

Bad&Pastは、メンバーが過去の「谷の時期」「乗り越えた要因」を語り、共感の連鎖を起こす手法です。

渥美さんが開発した手法です。



ケース3 『共有』

職場で上司・部下との価値観の共有が難しい。

基本的に価値観の共有は難しい、分かりあえないと思います。ただ、お互いを認め合うことはできると考えていて、極論を切り捨てずにスパイスとして感謝すること、そして上から目線ではなく下から目線を心がけています。その気にさせる対話的なコミュニケーションが重要です。

BUT…だけど、しかし、でもね  
YES AND…そして、さらに、  
加えて言うと、ならば、だとすれば



ポイントは接続詞!  
口ぐせからBUTをなくそう!

対話的なコミュニケーション→口ぐせから「BUT」をなくす、そして「BUT」の代わりに「YES AND」を使う。

最後に講師からのエール

日本社会は、今大きな変革期だと思います。今まで常識だと思っていたことが、崩れてくる、そしてハレーションが起きます。この変革期で一番リスクが高いのは変わらないこと、守りに入ること、ためらうことだと思います。変革期のリスクマネジメントは絶えず変わり続けようとする事です。おかしいことはこういうところを変えた方がいいと声を上げた方がいいと思います。ファーストペンギン(リスクを恐れずに初めてのことに挑戦する)の役割は、重要だけど嫌な思いは絶対します。たんこぶは作るかもしれないけど、今、地域で頑張っている女性、職場で頑張っている女性も、後に続く女性たちがいきいきとその人らしく働ける職場だったらいいと思っています。諦めずにチェンジをチャンスに変えて、このチャンスを生かしていただきたいと心から願っております。

受講者アンケートから

ピア・ダイアログで互いの話を聞けたことがまず良かったです。その上でキャリア面だけでなく、ライフ面でも役立つヒントをたくさんもらえました。(会場参加)

まず、自分が悩んでいることを聞いていただける機会を設けていただいたこと。それに対して解決策を提示していただき非常にありがたいと思いました。そして、いろんな人の話を聞くことができ、貴重な時間だったと思います。(オンライン参加)



講師の渥美さんによる  
リモートでの講義風景。



離島や遠隔地の方も  
オンラインで参加しました。

キャリアデザインセミナーの様子も紹介します。

DAY 3

2/14 日曜日  
13:30~15:30

講師：荻上チキさん  
(評論家)

## 公開講座 「日常の中のジェンダーギャップ」

私たちの日常にあるジェンダーギャップの正体とそれをもたらすものについて様々な「言葉の共有」をしました。



DAY 1

2/14 日曜日  
13:30~15:30

公開講座

キャリアアップセミナー  
DAY3と合同で実施

DAY 2

2/21 日曜日  
10:30~15:30

DAY 3

2/28 日曜日  
13:30~15:30



講師：高崎恵さん  
(アサーティブネス・トレーナー)



2/21・28は、  
マルヤガーデンズで実施。

年代も立場も違う参加者たちが対話を重ねながら、自分も他者も大切にできるアサーティブ・コミュニケーションについて学びました。

### 受講者アンケートから

「思っていないことは言わなくてよい」という事が目からウロコでした。自分の気持ちを正直に認め、相手に伝えるには思っていない事を言ってしまうと真意が伝わらないと得心しました。

モヤモヤしている気持ちを言葉に表すことができ、いろいろな気付きがありました。グループで話をする事でとても話しやすかったです。

## 令和2年度女性に対する暴力をなくす運動

相談室から

11月12日から11月25日は内閣府が主唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。DVや性犯罪、ストーカー行為等といった女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではなく、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。県では、女性に対する暴力の根絶を目指して、様々な取組を実施しました。



パープルリボンは、女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークです。

### 暴力防止街頭キャンペーン

11月12日(木)、鹿児島中央駅前、女性に対する暴力をなくす運動啓発チラシや相談窓口カード等を配布しました。



【参加者】国際ソロプチミスト鹿児島、同川内、同華南、同あいら、ガールスカウト鹿児島県連盟、鹿児島市男女共同参画センター、県男女共同参画センターサポーター、鹿児島県

### パープルライトアップ

女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークであるパープルリボンにちなみ、観光車「アミュラン」や甲突川橋梁(高見橋及び西田橋)もライトアップされました。



### 女性のための法律110番

11月25日(水)、女性に対する暴力や離婚にまつわる諸問題について、県弁護士会の女性弁護士による電話・面接による無料法律相談を実施しました。

### パネル展示・パープルリボンツリー設置

かごしま県民交流センター2階と県庁2階及び18階においてパネル展示やパープルリボンツリーの設置を行いました。パープルリボンツリーには、女性に対する暴力がなくなるよう願いを込めて、多くの方々にリボンを結んでもいただきました。また、パープルリボンツリーの設置等には、企業にもご協力いただきました。



マルヤガーデンズ



鹿児島銀行



山形屋



かごしま県民交流センター

ひとりで悩まず相談してください。

相談室では専任の相談員があなたとともに考え、あなた自身の力で問題解決に向かうためのお手伝いをします。

#### 一般相談

【電話相談】099-221-6630-6631

【受付時間】水～日曜日 9:00～17:00

火曜日・休館日翌日 9:00～20:00

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【面接相談】事前に予約が必要です。

#### 専門相談

事前に予約が必要です。

【女性のための法律相談】(面接)原則第1・3火曜日

【メンタルヘルス相談】(面接)原則第3水曜日

【男性相談(男性相談員による男性のための相談)】

(面接・電話)原則第2土曜日

### ぴあ・すてーしょん

鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆かごしま」が、若者の男女交際の悩みやデートDV、性感染症等についての相談に応じています。

【日時】毎月第3土曜日 14:00～16:00

【場所】かごしま県民交流センター1階会議室(売店前)

# 鹿児島県男女共同参画地域推進員について

令和3年2月27日、市町村長の推薦を受けた14名の方が、新たに県知事から男女共同参画地域推進員の委嘱を受けました。これにより、4月1日に再委嘱される方と合わせて、総勢110名になります。

## 地域推進員とは？

県では、県内各地域において、男女共同参画社会の形成に関する理解の浸透を図るため、平成20年度から、地域の実情や特性を踏まえて、地域の中で、県や市町村等と協働して男女共同参画を推進する「男女共同参画地域推進員」を設置しています。

## 地域推進員とはどんなことをするの？

- 地域における男女共同参画に関する普及・啓発と情報提供。
- 県や市町村が行う男女共同参画施策の推進への協力など、様々な活動をボランティアで行っていただいています。

## 主な活動事例

- ・ 市町村担当課との定例会等へ出席。
- ・ 県・市町村主催の研修会等への参加、広報等の協力。
- ・ 研修会、学習会、ミニ集会、展示等の企画・運営等。

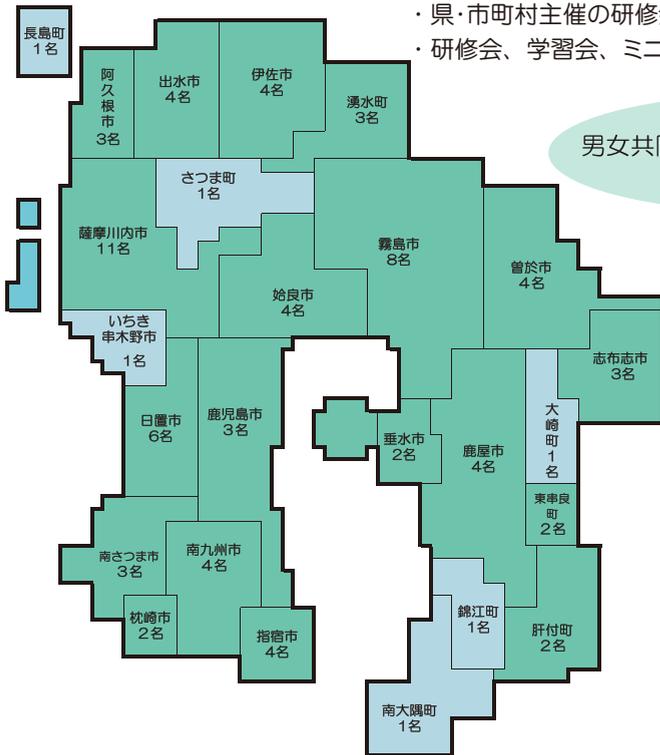
## どんな人が地域推進員になれるの？

県内に居住し、男女共同参画の推進に関して熱意と奉仕の精神を有する方で、県が指定する講座を修了した方の中から、市町村長の推薦があった方に県知事が委嘱します。

(委嘱期間は、委嘱された日から、2年が経過する日の属する年度末までです。)



【今回委嘱された新たな顔ぶれ】



男女共同参画地域推進員の委嘱状況 (令和3年4月1日)

委嘱有 41市町村 (人数 110名)	
■ 委嘱者 2名以上	: 26市町村 (60.5%)
■ 委嘱者 1名	: 15市町村 (34.9%)
委嘱無 2市町村 (4.6%)	

## 寺らりびと 第5回 知名町 活躍する鹿児島県男女共同参画地域推進員の紹介

沖永良部島にある知名町の地域推進員は、1年前に委嘱された長山美香さんと今回2月27日に委嘱されたばかりの永野道也さんのお二人です。今回は、地域推進員となって1年目の長山美香さんにお話を伺いました。



【長山美香さん】

### ◇県男女共同参画地域推進員になったきっかけを教えてください。

平成29(2017)年鹿児島県男女共同参画週間のパンフレットで「見ようとしなければ見えない問題を追い続けて」の講演を知り参加した際、講演と講演終了後のワークショップに衝撃を受けました。県男女共同参画センターのセミナー等に参加しているうちに知名町には地域推進員がいないことを知り、なりたと思っていたところに、地域推進員の話があり委嘱を受けました。想いが通じたという感じです。

### ◇地域推進員としての活動を教えてください。

令和2(2020)年度鹿児島県男女共同参画週間では、役場と協力して、パネルの展示やDVDの上映、簡易相談会などを行いました。また、ちょうど知名町内の小学校で実施された「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」のワークショップを参観して、子どもたちが男女共同参画を学ぶ姿を見ることができました。

### ◇地域推進員として、苦労されたことを教えてください。

男女共同参画を簡単に説明することは難しいと思っています。周囲の方に男女共同参画基礎講座を始めとした学びの場に声をかけてもなかなか足を運んでもらえなかつたりします。

### ◇センターだよりを御覧の皆さんに伝えたいこと

自らのアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に気づくことは、とても難しく定期的に学ぶことが大切だと思っています。自分の心の内と向き合う作業を研修などの場で皆さんとともに学んでいきたいと思っています。



### ◇今回新しく地域推進員に委嘱された永野道也さんからのメッセージを紹介します。

知名町で男女共同参画社会の実現に向け、粛々と活動します。



【永野道也さん】

# 令和3(2021)年度上半期の行事予定 鹿児島県男女共同参画センター事業予定

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程等が変更になる可能性があります。

## 意識啓発・人材の育成

### 男女共同参画基礎講座

男女共同参画についての基礎や身近なところで男女共同参画の理解を広めるための講座を開催します。

【期日】6月毎週土曜日(全4回)

【講師】たもつ ゆかりさん(オフィスピュア代表)

高崎 恵さん(ワークショップデザイナー)

【時間】全講座/13:15~16:45

【場所】かごしま県民交流センター

【対象】原則、全回受講できる方※オンラインも予定しています。

### 男女共同参画基礎講座 地域版

かごしま県民交流センター以外で男女共同参画についての基礎知識等を学ぶ2日間講座を開催します。

【期間】8月~12月 【場所】県内2地区 【対象】地域の方々

### 男女共同参画週間事業 (★民間団体との協働(共催)事業です。)

県の男女共同参画週間(7月25日~7月31日)にちなみ、県民の方々に男女共同参画への関心や気づきを持っていただくための講演会やワークショップ等を開催します。

【期間】7月25日(日)~7月31日(土) 【場所】かごしま県民交流センター

## 男性への意識啓発

### 男性のための男女共同参画セミナー

男性の男女共同参画への正しい理解と職場や家庭における固定的性別役割分担意識の気づきと解消をめざしたセミナーを開催します。

【期日】9月 【場所】かごしま県民交流センター

## 若年層への意識啓発

### 子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業

子どもの頃から男女共同参画の理解を深めるために、学校でワークショップやセミナーを開催します。

【期間】7月~12月 【場所】小・中学校 【対象】児童・生徒、教職員、保護者、地域住民 等

### 学校への男女共同参画お届けセミナー

高等学校等が開催する「男女共同参画」や「デートDVの防止」に関するセミナーに講師を派遣します。

【期間】7月~2月 【場所】高等学校等20校 【対象】生徒、教職員、保護者

## 女性に対する暴力の防止・被害者支援

### 相談業務研修会

相談業務に係わる相談員、担当者等を対象に、支援に必要な知識の習得と相談対応のスキルアップを図るための研修会を開催します。

【期日】6月 【場所】かごしま県民交流センター

### 2021年度下半期には

キャリアデザインセミナー、高校生のための「ピアサポーター」養成講座、デートDV防止

セミナー、暴力被害者支援セミナー、女性に対する暴力防止キャンペーンなどを開催予定です。詳細につきましては、次号のセンターだよりやホームページでお知らせします。また、センター公式Facebookでも最新情報をお知らせします。



## 新着図書情報

※新着図書一覧はセンターのホームページに掲載中です。

### おとめ六法



万が一のそのときというのは、なにをどうすればいいかわからないもの。おとめ六法は、憲法、刑法、民法の他DV防止法、ストーカー規制法など女性の一生に寄り添う法律集です。

上谷さくら/岸本学 著  
弘文堂

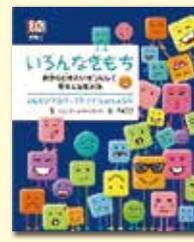
### 「男女格差後進国」の衝撃



長年ジェンダー問題について取材など重ねてきた著者が世界の取り組みを紹介しつつ「日本で男女格差が縮まらない理由」を考察、国内の成功事例を挙げつつ、次世代のためにできることを提案します。

治部れんげ 著  
新日本出版社

### いろんなきもち



子ども向けに感情のメカニズムなどを生物学・科学的な観点から豊富なイラストで分かりやすく楽しくまとめた本です。自分の気持ちを尊重し自己肯定感を高めることも目的としています。

エリノア・グリーンウッド 著  
平木典子 訳  
保育社

## 男女共同参画センター関連のご案内

### 図書等の閲覧・貸出

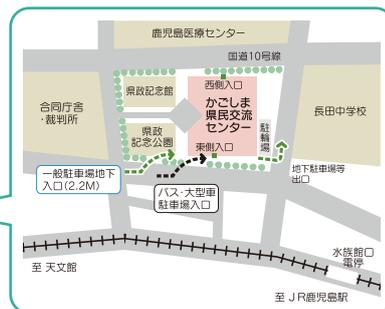
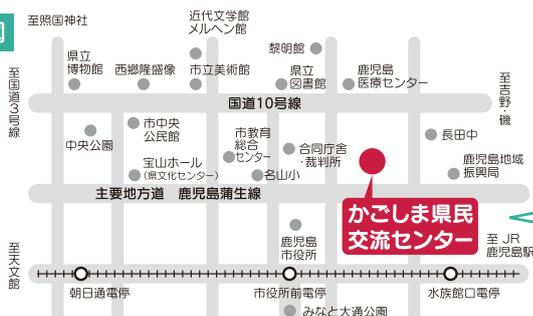
かごしま県民交流センター6階情報サロンには男女共同参画に関する約2,000冊の書籍があります。閲覧のほか、1人5冊まで3週間の期間で貸出ができますので、是非ご利用ください。

(注)書籍の貸出には、「かごしま県民交流センター情報システム利用者カード」が必要です。カードをお持ちでない方は、当日中に作成できますので、身分証明書(マイナンバーカード・運転免許証・健康保険証・学生証等)を持って2階事務室にお越しください。

### 啓発パネル・DVD等の貸出

学校、事業所、市町村、男女共同参画を推進する民間団体等に貸出も行っています。内容等詳細は、ホームページを御覧ください。

### 周辺地図



### 交通案内

#### 「JR利用」または「市電・バス」

- 【鹿児島駅】徒歩約10分
- 【市役所前】下車徒歩約5分
- 【水族館口】下車徒歩約5分

#### 駐車場

約450台収容 150円/30分  
※センター利用者は2時間まで無料。  
総合案内等で2時間無料の認証を受けてください。



編集・発行  
鹿児島県

## 鹿児島県男女共同参画センター

(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50

●「男女共同参画センターだより」の掲載記事(バックナンバーを含む)は、ホームページにも掲載しています。

TEL 099-221-6603

FAX 099-221-6640

電子メール p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

ホームページ <http://www.kagoshima-pac.jp>

